

社南(福井)の34年「永久保存」

福井市社南地区の行事などを記録として撮影している住民グループ「社南教育メディア連絡協議会」が、一九七八(昭和五十三)年から撮りためてきた三十四年分の記録映像・写真をDVD化した。貴重な資料を平永久的に保存するのが狙い。メンバーは「地域の財産として、皆さんに見てもらったり、学校や地域で教材として活用したりしたい」と話している。

同協議会は八二年に設立。同会発足の四年前に初期メンバーが活動を始めたのを皮切りに、これまで地区行事や地区内の自然風景の移り変わりなどを動画や写真で記録してきた。現在は五十七十代の男女地区民十四人が所属している。

これらの資料は同市種池二丁目の社南公民館で保管。その数は、会長の日下嘉郎さん(モコモ)は

有志住民の映像など写真のDVD化

「つきり分らない」と言っ
うほど膨れ上がり、場所
の確保も困難になった。
また、記録媒体も8ッ
た。

フィルムからVHSまで
さまざまで、古い媒体だ
と再生機器などがなくな
り、活用できなくなる恐
れもあることから、DV
D化することにした。昨
夏から作業を始め、七八
(桂知之)



記録映像のDVD化に取り組んだ社南教育メディア連絡協議会のメンバー。福井市社南公民館で